



山口県立萩美術館・浦上記念館 出張ワークショップ

KINTSUGI JEWELRY



金継ぎジュエリー体験

色鮮やかな天然石などのパーツと、割れたり欠けたりした伝統的な日本のやきものの破片を組み合わせ、オリジナルのジュエリーをつくるワークショップです。

- ・アクセサリーは、好きなものを選んで2点制作することができます。
(ピアス・イヤリング・ブローチ・指輪・ペンダントトップ・帯どめ・ポニーフック・タックピン・カフスリンクス)
- ・制作されたアクセサリーは当日お持ち帰り頂けます。
- ・汚れても良い服装、また細かい手元の作業のため眼鏡が必要な方はお持ちください。
- ・かぶれにくい合成うるし(塗料)と金粉(真鍮とパール粉のブレンド)を使用しますが、まれにかぶれる場合があります。ご注意ください。

開催日 2024年10月5日(土)

会場 山口県立美術館 講座室

開催時間 9:30~12:30 (受付9:00~)
14:00~17:00 (受付13:30~)

定員 各回16名

対象 小学生以上
(小学生の参加は要保護者同伴)

参加費 一般 5,500円
県立美術館メンバーズ会員 5,000円
※会員ご本人のみ対象。
当日は会員証をお持ちください。

申込開始 9月15日(日) 9:00~

お申込みはこちらから



—金継ぎとは—

壊れた陶磁器を修復する室町時代からの日独自の技法で、割れたり欠けたりした器を漆(うるし)で繋ぎ、継ぎ目を金や銀などの粉を蒔(ま)いて装飾する伝統技術です。
ワークショップでは、ウルシの木から採れる漆は使用せずかぶれにくく乾く時間の早い合成うるし(塗料)と金粉(真鍮とパールの粉のブレンド)を使用して作るため、はじめての方も安心してご参加いただけます。

—講師プロフィール—



赤沼奈津香 (あかぬまなつか)
金継ぎジュエリー「engrace (エングレース)」主宰。
器の修復技術である「金継ぎ」を応用し、独自にジュエリー制作を開始。日本の伝統を受け継ぐやきものに注目し、主に窯元から産業廃棄物となる「捨てられるはずだったやきもの」を買い取り、ジュエリーとして再生させる活動を展開している。現在、国内外に20か所の常設店舗を持ち、海外出展や講師活動も好評を得ている。

お問い合わせ

山口県立萩美術館・浦上記念館 TEL: 0838-24-2400

〒758-0074 山口県萩市平安町586-1 開館時間: 9:00~17:00(休館日を除く)

FAX: 0838-24-2401 URL: <https://hum-web.jp/>

主催: 山口県立萩美術館・浦上記念館指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ